

◎ 次期横須賀市教育振興基本計画の検討状況について

1 これまでの検討経過

時 期	内 容
令和3年 1月21日	<b>総合教育会議</b> 次期計画策定に向けた横須賀の教育の未来像について、市長と教育委員が意見交換 <b>別紙1</b>
5月6日	<b>横須賀市教育振興基本計画策定検討委員会（第1回）</b> 策定方針、現状と課題、教育アンケート結果等を共有
5月23日	<b>教育フォーラム</b> 「目指す子ども像」「目指す教育の姿」について、市民の皆様が意見交換 <b>別紙2</b>
7月1日	<b>横須賀市教育振興基本計画策定検討委員会（第2回）</b> 未来に向けて横須賀の教育が目指す姿について、検討委員が意見交換
9月8日	<b>横須賀市教育振興基本計画策定検討委員会（第3回）</b> 目指す姿(案)についての検討経過、考え方を報告し、検討委員から意見聴取

※ 横須賀市教育振興基本計画策定検討委員会（11名）

公募市民（2名）、学識経験者（3名）、社会教育委員（1名）、保護者（市PTA協議会）（1名）、小・中・高校長（3名）、教員（教職員組合）（1名）

## 2 次期横須賀市教育振興基本計画における目指す姿（案）について

### (1) 未来の横須賀の教育に対する思い・大切にしたいこと（第2回検討委員会）

#### 自立、自律、主体性、生涯学び続ける力

- ・自分自身を強くしていく力、律していく力、自己解決する力が大事
- ・近年の動きを考えていくと、一人一人の子ども、子ども以上に市民社会が自ら物事をきちんと考えて判断してくという、主体性の在り方の問題だと思う。
- ・「学びを礎に豊かな人間性を備え自己実現に向かう」を提案したい。知識がないと、人間性の向上や自己実現に向かわない。最終的に自分らしくどう生きるか、ということ「自己実現」に置き換えて表現してみた。
- ・自らを愛し、自主的に活動する、自ら考え行動することが必要だと思う。学ぶ意欲が自然に湧いてくるような、学びを誘い合える、子どもから高齢者まで学ぶ喜びを感じられる教育でありたい。
- ・生涯にわたって学び続ける力を高めるという要素は大事にしたい。

#### 多様性、協働性

- ・「笑顔で」は少し引っ掛かる。笑ってチャレンジできないときもある。フォーラムで思いやりに関する言葉が多かったことは、未来に向けて少し安心した。
- ・みんなが明るく元気でなくてもよいのかな、と思う。それが個性
- ・共に暮らす人を大切に思い、互いに助け、支え合う人になることが必要
- ・自分を育てることとともに、多様な価値観を認めていくことも大事
- ・多様であっていい、みんな違っていいという考え方がより強くなってきた。多様性という言葉でくくる危うさはあるが、子どもも大人もいろんな多様性、価値観を一層大事にしていく計画でありたい。
- ・グローバル社会の中で重要視されている多様性という問題。ダイバーシティという言葉もあり、インクルーシブ、包摂性、寛容性、優しさということは大事にしたい。お互いさまとして立場や意見や思いの違いをどうやってつなぎ合わせていくかという、協働性の部分は非常に大事

## 横須賀への思い

- ・横須賀を好きになってもらい、自信を持って社会に出て、大人になって横須賀に帰ってきて、貢献できる子どもに育ててほしい。
- ・ふるさと意識、横須賀という地が好きであるということを大事にしたい。
- ・横須賀の良さを世界に発信できる人間（横須賀総合高校の目指す生徒の人間像のひとつ）、横須賀が大好きで、将来横須賀のために貢献できる人間になってもらいたい。
- ・横須賀で働く大人たちの背中を見せる教育が必要。「横須賀で活躍したい。」と戻ってきてくれる。横須賀で学んで、横須賀のために頑張ってくれる。「地元愛」をキーワードに子どもと大人が学び合う都市を目指すということが大事
- ・郷土を愛する、郷土を大切にする、暮らしている地域を大切に思う、地域で暮らす人々を大切に思う、そのようなかたちが良いのではないか。
- ・横須賀は誇るべき、特筆すべき文化遺産があり、これが今の生活にも直結している。いろんな背景を抱えながらの文化遺産や社会教育施設はまさに多様性で、幅はすごい。人という視点に加え、このような視点も入ると良い。

- 
- ・多様性を大事にする中で、「地元愛」「横須賀を誇りに思う」という言葉も、少し押し付けがましい部分がある。結果としてそういう子どもが増えたら良い、という思惑、施策は良いが、前面に出す必要まであるかは要検討ではないか。

- 
- ・やはり「横須賀市の教育をどうするか」なので、地域特性、横須賀の良さは自信を持ってしっかり子どもにも市民にも向けて発信すべき。ナショナリズムではなく、人として自然な、自分の生まれた土地や地域に対する愛情、ということを経験した上で表現を工夫し、横須賀を愛していくということを大切に扱いたい。
  - ・「私が好き あなたが好き 横須賀が好き」というフレーズは気に入っている。そこには地域愛を込めるが、押し付けにならないように他で案配をとるなど、なるべく子どもたちに地域を好きになってほしいという気持ちを込めたい。
  - ・よそから横須賀に移り住み、子育てしながら横須賀のいろいろなところを回った。最初はわからなかったが、結果、私は今横須賀が好き。子どもも、結果、横須賀を誇りに思っている。時間をかけて、大人も共に動いていいところを見つけていくことが、最終的にふるさとが好きということにつながるのではないか。

## (2) 何を指すか

⇒ 「子ども像」より「人間像」(人づくり)が望ましい。

- ・子どもだけでなく、子どもも大人も学び合うという点は、人口減少を考えても大事。小、中、高で基礎固めした上で、大人になっても学び続けるということ。
- ・「子ども像」は違和感がある。基本計画を10年と考えると子どもは大人になる。子どもの教育と大人の教育はシームレス、持続可能に回らなければならない。
- ・社会教育を別建てしないのであれば、市民全体という視点が入ると良い。
- ・横須賀で暮らす人づくり、教育という計画に変えていくべきかなと思う。
- ・教育は学校で過ごした後も続くので「人間像」の方があてはまると思う。
- ・義務教育中心だと感じられてしまうので、高校の内容もバランス良く入れたい。成人年齢引き下げを考えても、「子ども」は少しそぐわないのではないかな。
- ・今までは学校教育中心だったが、もう少し社会教育というか、市民という視点で捉え、発信できると良いという意見が多かった。自分もそのように考える。

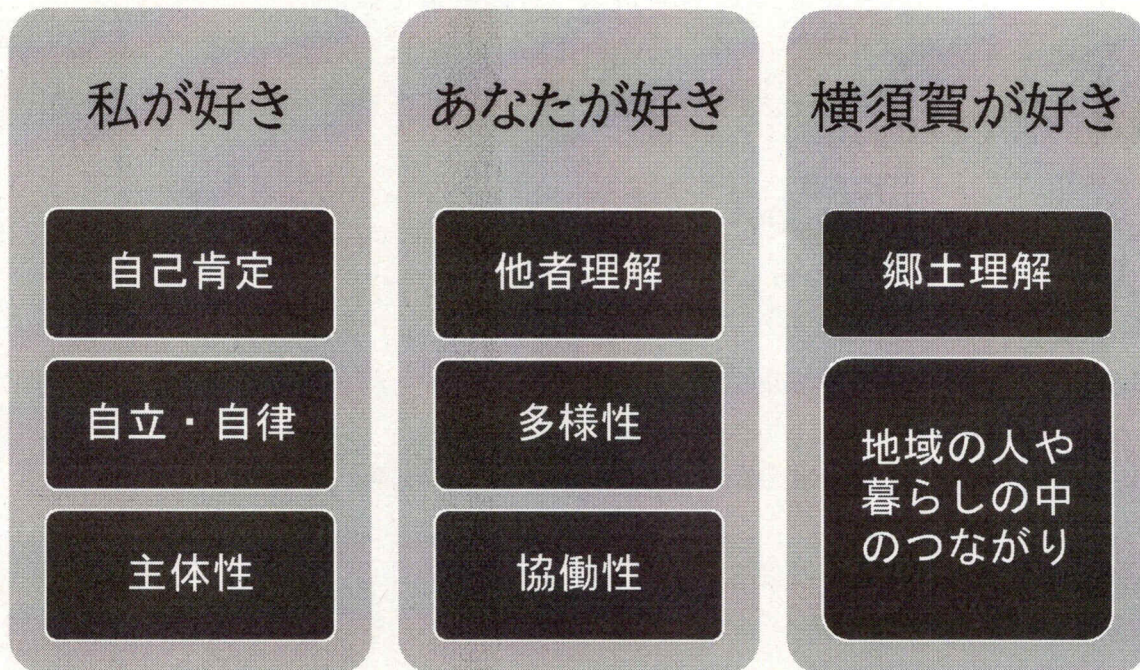
## (3) 構成

⇒ シンプルが良い。しかし、そこに込めた思いや背景の説明は大事

- ・教育の姿や人間像の前に、キャッチフレーズ、キャッチコピーのようなものを作ると、親や市民は何がしたいかはっきり分かるのではないかな。
- ・箇条書きで細かいものよりは、キーワードをドンと出してしまう方が良い。
- ・シンプルな表現の方がすべての市民に、子どもたちに分かりやすい。
- ・できればまとめて極力シンプルな表現が良いという意見は自分も同じ。
- ・「人間性豊かな子ども」は覚えやすく分かりやすい。このままでも良いのではないかな。そこから枝分かれする6つの要素を変更するという考えでも良いと思う。
- ・キャッチフレーズ的な、端的で、目に触れやすいものが良い。ひとつの像で示し、枝分かれする部分で具体的に説明する形が良いのではないかな。
- ・唱えやすく、覚えやすいことが大事。シンプルに、目を引かれるような計画でありたい。しかし、シンプルすぎても伝えたいことが伝わらないので、大きな枠組みとは別に説明書きも入れるなど、工夫が必要ではないかな。小、中、高でバージョンを分けるなど工夫すると、児童生徒にも浸透していく。
- ・幸せを自らつくっていける生徒を増やしたいという理念で「Happiness Creator」を学校像、学校経営のキーワードとしている学校もある。シンプルは賛成だが、抽象度が高くなれば通り一遍の、別に横須賀でなくてもよいものになってしまう。理念の背後にあるもの、その心は何なのかということをかみ砕いて説明することは大事

## ■ 横須賀の目指す教育の姿

「私が好き あなたが好き 横須賀が好き」と誇れる人づくり



### ○ 目指す教育の姿に込めた思い

#### 「私が好き」

自分らしく生きることを大切に、自ら考え、行動し、自分で判断する力や、生涯自ら学び続け、自分を律する力を持った人になってほしいという思いを込めています。

横須賀の教育は、自己肯定、自立・自律、主体性を大切にし、「私が好き」と誇れる人を育てます。

#### 「あなたが好き」

相手への思いやりを大切に、違いを認め、受け入れる心を持ち、様々な価値観を持った人と力を合わせ、助け合える人になってほしいという思いを込めています。

横須賀の教育は、他者理解、多様性、協働性を大切にし、「あなたが好き」と誇れる人を育てます。

#### 「横須賀が好き」

人々と出会い、学び、暮らすこのまちへの愛情・愛着を大切に、地域の歴史や文化、自然を理解し、人と人とのつながりを実感できる人になってほしい、そして、横須賀の良さを、自信を持って発信できる人になってほしい、という思いを込めています。

横須賀の教育を通じ、誰もが自然に「横須賀が好き」と誇れる、そんな姿を目指します。

### 3 今後のスケジュール

- 10月20日 第4回検討委員会（計画素案を報告）
- 11月 教育委員会11月定例会（計画素案を報告）
- 12月2日 市議会12月定例議会教育福祉常任委員会（計画素案を報告）
- 12月10日 計画素案に対するパブリック・コメント意見募集開始
- 1月6日 パブリック・コメント意見募集終了
- 1月12日 第5回検討委員会（パブリック・コメント意見と考え方を説明）
- 1月 総合教育会議で教育大綱について協議・策定
- 2月 教育委員会2月定例会で計画決定

■ 計画の体系

目指す教育の姿	方針	柱	施策	事業	目標指標
<p>「私が好き」 自分らしく生きることを大切に、自ら考え、行動し、自分で判断する力や、生涯自ら学び続け、自分を律する力を持った人になってほしいという思いを込めています。 横須賀の教育は、自己肯定、自立・自律、主体性を大切に、「私が好き」と誇れる人を育てます。</p> <p>「あなたが好き」 相手への思いやりを大切に、違いを認め、受け入れる心を持ち、様々な価値観を持った人と力を合わせ、助け合える人になってほしいという思いを込めています。 横須賀の教育は、他者理解、多様性、協働性を大切に、「あなたが好き」と誇れる人を育てます。</p> <p>「横須賀が好き」 人々と出会い、学び、暮らすこのまちへの愛情・愛着を大切に、地域の歴史や文化、自然を理解し、人と人とのつながりを実感できる人になってほしい、そして、横須賀の良さを、自信を持って発信できる人になってほしい、という思いを込めています。 横須賀の教育を通じ、誰もが自然に「横須賀が好き」と誇れる、そんな姿を目指します。</p> <p>「私が好き」 あなたが好き 横須賀が好き と誇れる人づくり</p>	<p><b>1 自立心と主体性のあるより良い社会の創り手を育てます</b></p>	<p>1 確かな学力</p>	<p>1 主体的・対話的で深い学びの実現 — 個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実 —</p> <p>2 学びの連続性を重視した教育の推進</p> <p>3 特色を生かした魅力ある高等学校教育の推進</p>		
	<p>2 健やかな体</p>	<p>4 健康の保持増進・体力の向上</p> <p>5 望ましい生活習慣の確立に向けた支援</p> <p>6 食育の推進</p> <p>7 運動やスポーツに親しむ機会の充実</p>			
	<p><b>2 多様性を認め合う共生社会の担い手を育てます</b></p>	<p>3 豊かな心</p>	<p>8 人権教育・道徳教育の推進</p> <p>9 いじめ・暴力行為への適切な対応</p>		
	<p>4 多様な教育的ニーズへの対応</p>	<p>10 支援教育の推進</p> <p>11 不登校に関わる支援の充実</p> <p>12 外国につながるの児童生徒に関わる支援の充実</p>			
	<p><b>3 生涯を通じた学びを支援します</b></p>	<p>5 人生100年時代の学び合い</p>	<p>13 子どもから高齢者まで年齢を問わず学べる機会の提供</p> <p>14 学びの成果を生かせる場の充実</p>		
	<p>6 地域の歴史・文化・自然から得る学び</p>	<p>15 文化遺産の活用と将来への継承</p> <p>16 図書館・博物館・美術館による豊かな学びの推進</p>			
	<p><b>4 持続可能で魅力ある教育環境を整えます</b></p>	<p>7 社会変化に即した教育環境</p>	<p>17 学校の安全・安心の推進</p> <p>18 児童生徒数の減少等に対応した学びの環境整備</p> <p>19 教育の質の向上に向けたICT環境の活用推進</p> <p>20 学校・家庭・地域の連携による教育力の向上</p> <p>21 経済的理由に左右されない学びの機会均等</p>		
	<p>8 学び続ける教職員</p>	<p>22 教職員の資質・能力の向上</p> <p>23 教職員の働き方改革の推進</p>			

基本計画・教育大綱(8年間)

実施計画(4年間)